

# Wish

ユニセフ兵庫ニュース

unicef 

(財)日本ユニセフ協会  
兵庫県支部

〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18  
コープこうべ生活文化センター4F  
TEL. 078-435-1605 FAX. 078-451-9830  
ホームページ  
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo>

UNITE FOR CHILDREN  
UNITE AGAINST AIDS 

みなさまにご支援いただき誕生した兵庫県支部が早いもので5周年を迎え、確実に支援の輪が広がっておりますことを心から感謝申し上げます。

多くのみなさまからのご協力をいただき一方、国の内外を問わず今ほど「いのち」の重みを考えなくてはならない時はありません。昨年、アフリカのタンザニアで出会った子どもたちの笑顔が、印象深く残っています。人間のおろかさや自然の驚異を改めて感じさせられたスタディツアーでした。

2000年の国連ミレニアムサミットでは目標の1つに「2015年までに子どもの死亡率を1990年の3分の1にまで減らす」と掲げています。しかし、このスピードでは達成がほとんど絶望的という状況が続いております。そんな中、ユニセフでは子どもの死亡率を劇的に低下させる新たな取り組み(ACSD)を西アフリカのいくつかの地域で始めました。かけがえのない子どもたちを大切に、まさしくいのちを大切にする取り組みだといえるでしょう。



日本ユニセフ協会  
兵庫県支部  
会長 竹本 成徳 しげのり

満5歳〜広がるみんなの力

02年度



設立総会



ロジャー・ムーア氏と募金活動

03年度



ハンド・イン・ハンド



氷がめ体験(神戸市西区)

04年度



第3回ユニセフのつどい

05年度



神戸まつりパレード

06年度



タンザニアツアー

元気な笑顔、はにかんだしぐさ、好奇心に満ちた瞳…

# タンザニアで出会った子どもたち

～タンザニアツアーに参加して

「世界の子どもたちのためユニセフ募金にご協力お願いします。」

多勢のボランティアの方たちと、毎年大きな声を張り上げて募金活動をしている。でも実際このお金がどこに行きどう使われているのか、私自身は今日まで一度もこの目で見たことはなかった。



10月27日、飛行機は一路タンザニアへ。途中アラブ首長国連邦のドバイにて5時間のトランジット。世界のオイルマネーとその富が集中したこの近代的で超豪華な大空港に寄航したことが、後のアフリカとのコントラストを一層くっきりと浮かび上がらせている。持てる国と持たざる国。石油を産出する国、しない国。国の状況がこれ程までに違ってくるとは。子どもたちもこの国で生を受けるかによって人生が180度変わってしまう。決して子どもたちのせいではないのに。

タンザニア到着。ここが首都の空港だろうか。さしずめ地方のバスターミナルのようだ。入国手続きもスムーズには行かない。扇風機だけで空調設備もなかった。駐車場に出てまた驚く。待っていたのは日本の中古バス。街を走っている車の95%が日本の中古車だ。唯一の公共交通網、乗合バス「ダラダラ」も日本の送迎用マイクロバスだ。「出前迅速」「旅館」など日本語がそのまま使用されている。日本で私たちはこれらの車を全て廃車にしてきたのだ。まだまだ充分使えたのに……。物が溢れて全てが使い捨ての日本。タンザニアの子どもの筆箱の中を見せてもらった。ちびてとても短くなった鉛筆が2本、壊れたコンパス、ひびが入り欠けたプラスチックの定規、ランチ用のコインが1枚入っていた。日本の子どもたちは、鉛筆も何十本、新しいきれいな文房具も多数持っている。一体、何人の日本人がこの状況を知っているのだろうか。

見たこと聞いたこと感じたことをきちんと伝える。それが今回の旅の



上)ムランディジ地区保健センターで  
下)医師マリアムさんやボランティアさんと

県支部ボランティア  
中村 弘子

役割だと信じている。では一番大事な募金のゆくえについてご報告。今回私たちは保健プログラムと教育プログラムを視察した。ユニセフ・タンザニア事務所が政府と協議を重ね、地方自治体と連携を取り、組織的な活動を行っていた。私たちが見学した乳幼児健診では、カラフルな民族衣装を身につけた母親たちが乳飲み子を連れて何時間も歩いて村の保健センターに来ていた。村の巡回ボランティアに支えられ、乳幼児死亡率の低下など確実に成果が上がっている。小学校では児童労働、孤児、性産業従事などでドロップアウトした子どもたちに再教育のチャンスを与えている「C O B E T」プログラムを見学した。将来は大統領・警察官・パイロットになりたいという大きな夢を持っていた。私たちの募金は着実に身を結んでいた。

今回の旅では援助とは何かについても考えさせられた。実は全ての保健センターで、携帯電話・自転車・救急車などが必要であると毅然とした態度で要求された。子どもたちからも援助の嘆願書を受け取った。ユニセフの仕事は援助で、これが当然のことなのではあるが、そのために募金しているのだが、最終的にはタンザニアが自立しなければならない。そのために私たちは何ができるのか。答えの出ないとても難しい質問である。

エイズに関する今回公式には、エイズの工の字も聞くことはなかった。深刻な問題であるはずなのにやはり口にするのはタブーなのか、問題の奥の深さを考えさせられた。

乗り越えて行かなければならない問題はキリマンジェロの山のように険しいだろう。だが希望は大きい。国家が安定しており、社会が一応組織的に機能している。多くの有能な女性に出会った。その子どもたちが皆、学校で教育を受けている。美しい国タンザニア。あの元気な子どもたちの笑顔。はにかんだしぐさ。好奇心に満ちた瞳。10年後、20年後この子どもたちが祖国で夢をかなえられるようこれからもずっと見つめて行きたいと思う。

最後にこの旅を支えてくださった全ての皆様へ、感謝!!



へキマブライマリースクールに通う子どもたち

## 1月20日タンザニア報告会を開催しました

2007年1月20日土曜日13時～15時、コープこうべ生活文化センター・第3会議室において、タンザニアスタディツアー報告会を開催しました。

スライドをまじえた報告の後、熱心な参加者から多



数質問も飛び出しました。フリージャーナリストの大津さんも参加。写真や楽器なども展示し、タンザニアの様々な面をご紹介しました。



## ハンド・イン・ハンドに参加して 2006年12月23日

全国一斉の街頭募金活動「第28回ユニセフ ハンド・イン・ハンド」を12月23日(土・祝)に県下8カ所で行ない、100名を超えるボランティアさんの呼びかけで、266,521円の善意が寄せられました。

### 参加者の声

私は昨年も参加して今回で2回目の参加となりました。昨年と比べ寒さも緩く風も穏やかでしたが、たくさんの人に足を止めて募金していただいたのには心が温まりました。また来年も参加したいと思います。(谷口)  
人前で大声を出すのは勇気がいりました。でも募金される人のほうがもっと勇気があるのではと感じ、感謝・感謝で胸がいっぱいになりました。また来年も参加します。(黒田)  
初めての参加で、最初は緊張しましたが、時間がたつにつれ、募金していただいた方の温かい心に感動し、大変勉強になった一日でした。一緒に参加した小学2年生の子どもにとってもいい社会勉強になったことでしょう。本人も終了予定の時間が来ても、『まだもう少しやりたい』といったほど、ハンド・イン・

ハンドの活動に積極的になっていました。ボランティアという感覚でなく、親子のコミュニケーションのひとつとして、来年もぜひ参加したいです。(上村)  
4、5年ぶりに募金箱を持ち街頭に立ち、楽しい時間を過ごすことができました。ご協力くださった方々の募金箱前でのふるまい、あたたかさが満ちあふれていました。機会があればまた参加させてください。(男性)  
おもしろかった。高校生も大学生も入れてくれた。自分も入れた。1000円が2まい、500円がだいたい5まいぐらい入れてくれた。おばあちゃんも入れてくれた。来年もがんばりたいです。(9歳男子)



宝塚会場



西宮会場



住吉会場



三宮会場



元町会場



垂水会場



名谷会場



姫路会場

# 第5回 ユニセフのつどい

**とき** 3月10日(土) 13:00 ~ 16:30

**ところ** コープこうべ生活文化センター2階ホール  
JR住吉駅下車、南東へ徒歩約8分  
(会場へは下記の案内図をご覧ください)

参加無料

## 世界のともだちと心をつなごう

13:00 ~ オープニング

### 紹介

**アフリカ紹介** スーダンからの留学生やALT(外国人指導助手)として南アフリカから神戸に来られている方たちをお迎えして、楽しくお話をお聞きます。

13:40 ~ 14:25

### 報告

**1000万人の子どもの命 ~ 私たちに何ができるのか ~**

講師：平林国彦さん(ユニセフ東京事務所 次席代表)

14:25 ~ 14:55

### 募金&活動

**募金贈呈式&活動紹介**

団体などからの募金贈呈とユニセフ活動の紹介

☎ コーヒーやお菓子でブレイクタイム!!

15:15 ~ 16:20

### 交流

**空想民族音楽  
SAYAN**

たとえば、古くからある日本の収穫祭のような「祭り」。親指ピアノで奏でる「祈りの曲」や西アフリカのジェンベ、カランゲーなどの打楽器を中心とした曲の演奏。参加者もいっしょにSAYANのみなさんと踊りましょ

主催：(財)日本ユニセフ協会兵庫県支部

協賛：神戸YMCA、神戸YWCA

後援：生活協同組合コープこうべ



**レト写真パネル展** 同時開催(3/10~3/25) 1F展示室  
ケニア・タンザニアの写真展示や支援グッズなどの紹介も(2Fホール)

**チャリティーコンサート Violin 杉田恵理 & Piano 渡辺愛**

●とき:3月11日(日) 13:30開場 14:00開演

●ところ:神戸ファッション美術館オルビスホール

**ユニセフカップ 芦屋マラソン**

とき：4月8日(日) ところ：芦屋浜公園

お申し込み、お問い合わせは兵庫県支部まで

TEL 078-435-1605 FAX 078-451-9830

### \*ご協力ください\*

**ユニセフ募金** ~ご家庭で学校で職場で~

いただきました募金は、日本ユニセフ協会からユニセフ本部、そしてユニセフ現地事務所を通じて世界の子どもの支援活動に使われます。

郵便振替でお願いします

口座番号：00190-5-31000

加入者名：(財)日本ユニセフ協会

通信欄に「K1 - 280兵庫」とご記入ください。

**会員って** ユニセフ協力活動を行なう日本ユニセフ協会を、会費によって支援します。

一般会員...個人ならどなたでも1口 5,000円

学生会員...18歳以上の学生 1口 2,000円

団体会員...団体、法人、企業 1口100,000円

申込み方法についてはお問い合わせください。

### ●緊急募金のお願い●

**スーダン・ダルフール緊急募金**

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「スーダン K1-280兵庫」と記入

**アフリカ緊急募金**

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「アフリカ K1-280兵庫」と記入

**中東緊急募金**

郵便振替：00190-5-31000

通信欄に「中東 K1-280兵庫」と記入

**フィリピン台風緊急募金**

郵便振替：00110-5-79500 (送金手数料免除)

通信欄に「フィリピン台風 K1-280兵庫」と記入

【共通】口座名義：財団法人日本ユニセフ協会

募金は郵便局指定の振込用紙をご利用の上、上記口座までお振込みください。

ユニセフへの募金は寄付金控除の対象となります。

### あ・と・が・き

今年の冬は雪も少ない異常気象...  
ゴア氏の挨拶以前に地球温暖化は目前の真実のようです。

早くも早春ですね。支部5周年が近づき、今回は特別号としてお届けします。(K)

Wish

Vol.19号(2007年春)

ユニセフ兵庫ニュース

2007年(平成19年)3月発行(季刊)

発行:(財)日本ユニセフ協会 兵庫県支部

〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター4F

TEL 078-435-1605 FAX 078-451-9830

(平日の10時~16時)

### 案内図

JR住吉駅下車、南東へ徒歩約8分



ユニセフ兵庫支部  
(コープこうべ生活文化センター4F)

本紙は古紙100%の再生紙を使用しています。